



発行日 平成29年3月19日
発行所 特定非営利活動法人
フードコミュニティ目黒
理事長 渥美 昭美
〒152-0001
東京都目黒区中央町2-32-5
スマイルプラザ中央町
TEL: 03-5768-0707
FAX: 03-5768-0717
E-mail: okowa@fc-meguro.com
http://www.fc-meguro.jp/

もっている力を存分に発揮するために

東京都教育庁指導部特別支援教育指導課長 伏見 明

特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒のみなさまにおかれましては、特別支援学校生徒に働く場と機会をおつくりいただき、心より感謝申し上げます。

都立特別支援学校では、知的障害のある生徒の自立と社会参加に向け、「作業学習」という授業を中心に、働く力の伸長を図っています。近年、作業学習では、かつての「物づくり」に、事務・清掃・物流といった内容が加わり、変化してきておりますが、任された役割を担う力を育てるといった、「人づくり」が重要であることに変わりはありません。

都教育委員会は、研究指定校の成果から、役割を担う力を育てるには、①作業能力に応じた「工程の工夫」、②障害の特性に応じた「補助具の開発」、③作業しやすく、集中しやすい「環境づくりの工夫」、④生徒の主体的活動を支援する「教員の関わり方」という4つの視点が必要であるとしています。

これは、就労継続支援事業所、就労移行支援事業所等を進路先に選んだ卒業生にとっても同様だと考えます。そこで都立知的障害特別支援学校は、今年度から、生徒の進路先決定後から卒業までの間に、就労継続支援事業所等の職員の方を学校に招き、生徒が受けている配慮や使っている補助具を紹介することで、卒業生が就労継続支援事業所等で力が十二分に発揮できるようにしています。

今後とも、障害のある人が存分に力を発揮できるよう、更なる連携をお願いいたします。

現在の状況

フードコミュニティ目黒 理事長 渥美 昭美

フードコミュニティ目黒(FC目黒)は、平成28年東京都福祉サービス第三者評価事業を受審しました。受審結果を受け、事業改善計画の策定作業を始めています。

平成28年度も就労移行の利用者を一般企業に就労させることが出来、ほっとしているところです。

また、就労継続支援(B型)事業の方々の工賃はなかなかアップすることが出来ませんが、目黒区や企業、さんまるしえのお陰で平成29年度目標工賃は34,500円の予定です。

平成29年度に向けて就労移行支援事業・就労継続支援(B型)事業の利用者の受け入れの準備を整えております。

日頃より、皆様方には自主製品のお弁当を注文して頂き、誠に有り難うございます。材料費の高騰によりやむなく4月1日より日替り弁当・鮭弁当を550円(税込み)、山菜おこわ弁当・お赤飯弁当を650円(税込み)に値上げを決断いたしました。

今後ともFC目黒にご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。

今年度を振り返って

フードコミュニティ目黒 施設長 吉塚 晋

一年間が瞬く間に過ぎましたが、利用者は個別支援計画に基づき自分の目標を決め、家族の応援も受けながら日々作業・訓練に頑張ってきました。

一泊研修（10月）

今年は長野、群馬県方面に貸切バスで行って来ました。バスの中では、自前のクイズやカラオケを楽しみました。草津温泉での湯もみ体験、片岡鶴太郎美術館鑑賞、グリーン牧場散策、ラスク工場の見学等、盛り沢山の研修旅行となりました。

スマプラフェスタわっしょい（11月）

スマイルプラザ館内の9施設が一緒になって行うお祭りも、2年目を迎えました。FC目黒では、赤飯・山菜おこわ・お萩・おにぎり・各種お弁当に加え、今年度は、惣菜も売り、焼きそばを店頭で作りながら販売しました。前年度から引き続いての喫茶は、利用者にとって接客のよい訓練になりました。地域の方々にもたくさんお越しいただきました。



就労移行支援事業では、東京しごと財団合同面談会やハローワーク、職員の職場開拓により今年度は多くの企業面談、職場体験実習を行いました。その甲斐あって、3月に就労者1名を出すことができました。

今年度を無事に終えることができたのは、皆様方のお蔭と深く感謝しております。

第三者評価を受けて

平成28年度、FC目黒では福祉サービス第三者評価を受審しました。全体の評価・講評は以下の通りです。

◆特によいと思う点

- ・利用者の活動日誌、迅速な個別相談の対応、第三者委員との個別面談、各種アンケートなど、利用者の意向を把握し、サービス改善に生かしている
- ・多様な支援を通じて利用者の就労技術・意欲を向上し、高水準の工賃を実現。きめ細やかな就労移行支援で、高い就業率と定着を実現している
- ・学習と運動の時間が日課に組み込まれることで、利用者の社会性を培うとともに健康増進にもつながっている

◆さらなる改善が望まれる点

- ・スタッフ会議で利用者安全項目をチェックしているものの、自己・ヒヤリハット作成の徹底や利用者の安全管理マニュアルの整備が期待される
- ・「地域で優秀な障害者事業所を目指す」法人として、障害者の経済的自立の向上に向けた新たな取り組みが期待される。
- ・事業サービスの発信力、ボランティアの受け入れの強化や、地域住民と関わる機会を増やすことで、利用者の社会参加の促進を期待したい。

上記のことを受け、現在改善に向けて取り組んでいるところです。

詳しくは『どうきょう福祉ナビゲーション』福祉サービス第三者評価をご覧ください。

URL: <http://www.hukunavi.or.jp/hukunavi/>

平成29年度賛助会員募集 会費は、団体：年額 10,000円

★ぜひ、ご協力のほどお願いいたします。 個人：年額 3,000円

振込先 郵便振替口座00140-9-706649 特定非営利活動法人フードコミュニティ目黒

就労した人たちへのインタビュー

FC目黒で訓練し、現在それぞれの企業で働いている3名の方に、インタビューしました。3人とも、就労してちょうど2年目を迎えている方々です。

K (20歳)・・・介護サービスの会社
W (38歳)・・・有料老人ホーム
O (29歳)・・・飲食店

どんな仕事をしていますか？

K：メール便配達やパソコンでの入力、清掃作業などの仕事です。

W：洗い物をしたり、野菜を切ったり皮をむいたり、お茶ゼリーというものを作ったりしています。

O：店舗の厨房内の洗い場、仕込み、片づけなどです。

得意な仕事は何ですか？

K：メール便を本社まで電車に乗って届ける仕事が得意です。

W：食器や道具の洗い物が得意です。

O：一番は仕込みです。

大変なことはありますか？

K：あまりありませんが、しいてあげるなら廊下の掃除が大変です。結構広いので。

W：遠くまで電車に乗って通うのがつらい日がありました。今は特にありませんが、朝起きるのが少つらいです。

O：沢山ありますが、早寝早起きが苦手で、体調管理が難しい。人間関係も大変です。

仕事をしていてうれしいことは何ですか？

K：毎日楽しく仕事ができること、上司が優しいことです。

W：皆と一緒に仲良く仕事を出来るのがうれしいです。

O：お金を自分で稼ぎ、自分の好きなものを買えるのがうれしいです。

毎日仕事に通うことが出来たヒケツは？

K：病気をしないように、毎日手洗いうがいなど健康管理をしっかりとっていました。

W：仕事が楽しいからです。

O：FC目黒での振り返りの際に、足の疲れをとるお灸をしてもらったことです。



記念品の贈呈

給料は何に使っていますか？

K：自分の靴や新しいスーツを買ったり、映画を見るのに使いました。

W：時々ボーリングに行ったり、家族へのプレゼントに使いました。あとは貯金をしています。

O：ゲームソフト、本、映画などに使っています。たまにディズニーシーに行ったりしています。

これからの目標は何ですか？

K：甲子園球場へ阪神タイガースの試合を観に行きたい。

W：これからもずっと職場のみんなと一緒に楽しく働きたい。

O：無理せず、時々ちょっと無理をして、長く働くこと。

この度FC目黒では、就労一周年の記念品を3人に渡しました。自分の得意なことを生かして、それぞれの職場で精一杯活躍してほしいと願っています。

就労継続支援(B型) ～働く喜びを感じて～



作業の様子

FC目黒では、弁当製造を中心とした自主製品と地域の企業からの受注製品を取り扱っています。就労継続支援(B型)の利用者は、主に受注製品の作業を受け持っています。

《箱折り・袋折り》一回折ったらやり直しがきかないため、慎重さが求められます。ミスをださないよう、丁寧にしかもかなりの速さで折っていく人もいます。

《ケアタグの糸通し》ケアタグの小さい穴に、一枚一枚糸を通していくのは根気がいる事です。毎週切らすことなく受注があり、誰でも出来て、皆が好きな作業の一つです。

《自動車部品のトレイ入れ》3センチくらいの小さな部品を指先で一つずつつまんで、仕切りのあるトレイの中に60個入れていきます。触ってはいけない場所にも気をつけて、部品を注意深く正しくつまんで入れることは、手先の器用さが求められます。

これらの受注作業は納品期日が決まっています。利用者の皆さんは、それに向かって熱心に取り組んでいます。どれも細かい作業で、単価はほとんどが1～4円と僅かなものです。でも皆で力を合わせ、毎日積み重ねていくと、かなりの値段になります。受注作業だけで昨年末は、一ヶ月15～20万円の収益をあげることができました。

《弁当配達》自主製品の弁当を、近隣のオフィス等に歩いて配達するのも、大切な仕事です。安全に気をつけ、挨拶・マナーをしっかり守り、お金をきちんともらってくるなどが約束事です。直接手渡しすることは緊張する場面でもありますが、4～8ヶ所位を分担して責任を持って配達しています。

この弁当配達は、地域の方々と繋がっていく、よい機会となっています。



弁当配達

利用者の皆さんは、「たくさん工賃をもらってうれしい」「仕事大好き!」「色々な仕事をしたい!」と毎月の工賃を楽しみにして、働く喜びを感じながら、元気に通所しています。



* イベント・サークル・会議等のお集まりに、ご予算に応じてお作り致しますので、お気軽にご相談くださいませ。

■ご注文・お問い合わせ
電話03-5768-0707
(9:00～17:00/土日祝休み)

安心・安全の厳選素材が自慢です!



宮城県産の環境保全米(減農薬)「ひとめぼれ」100%を使用。主菜は、肉または魚をメインに和洋折衷バラエティ豊か。すべて手作りであります。

<4月より>

白飯弁当/550円

赤飯弁当&山菜おこわ弁当/各650円

(宮城県産こがね餅米100%使用)



赤飯

グラムにより300～400円

価格はすべて内税となっております。



山菜おこわ



お萩(5個入り)

400円

